

憲法9条ねっと

ホームページアドレス:<http://www.mc.ccnw.ne.jp/kyujou/>

発行者: みなと医療生協「九条の会」事務局

みなと医療生協「九条の会」4周年記念講演会

「記憶」を武器に考え、忘れず、行動すること 大切なことをたくさん学んだ講演会

10月30日レインボーセンターにてみなと医療生協九条の会四周年記念講演会が行われました。今年、九条の会事務局長の小森陽一氏をお招きしました。

事務局より会の活動報告の後、有志によるロックソラン、恒例の医局合唱団に続いて、小森さんの講演を聴きました。

私が印象に残ったのは、庶民は記憶が武器だということと、報道されていることに対して二つくらい「なぜ?」と疑問を出すと真実が見えてくるという言葉でした。私たちは日々、洪水のように提供される情報に取り囲まれています。情報は内容を操作されているばかりではなく、情報を流すタイミングも巧妙に計算されているのだそうです。9月にペシャワール会で精力的に活動していた伊藤和也氏が殺害されたと報道された直後に、福田前首相の辞任報道がありました。これは伊藤さんが殺害された真相が報道されるのを紛らわすためだったという話は、与えられた情報をただ鵜呑みにしていた私には衝撃的でした。報道されたことにただ驚いている場合ではなく、なぜ起ったのだろうか、裏でどんなことが行われているのだろうかと考える視点が必要なのだと思いました。そして、それらのことをちゃんと覚えておかななくてはならないのです。国政や政治家の発言などで怒ったり悲しんだりしたこと、悔しかったことは忘れてはいけません。それを活動の原動力にしなければならぬのだと認識できました。

また、九条の会の活動がいかに大切かを再確認することもできました。今年の読売新聞の世論調査で15年ぶりに「憲法を変えない方がいい」が多数派になりました。これは2005年から連続して「変えない方がいい」が増加した結果だそうです。2005年は九条の会が発足した年です。草の根の運動が世論を動かしていることが証明され、とても勇気づけられました。ちなみに、みなと医療生協九条の会は6月に九条の会アピールが出されたのに呼応して同じ年に発足していますが、小森さんからこのように早い時期に会を立ち上げたこと、そのような会にふさわしい非常に中身の濃い活動をしていることに感銘を受けたとお言葉をいただくことができました。

考えること、忘れないこと、行動することの大切さを実感することができました。小森さんも時間を延長して熱く語ってくださり、280名以上の参加者で埋め尽くされた会場は大きな拍手でわき上がりました。こうした地道な活動を通じて、平和への思いを一人でも多くの人と共有していきたいと思いました。

医療相談室 中山 志野



当日はたくさんのカンパを頂きました。ありがとうございました。

力強く講演する小森陽一氏

当日の感想

